

島に伝わるその歌は、 高度な防災システム だった。

その土地の伝統文化を
活かした防災って？
バンバン先生、教えてください。

「地球が揺れて、海が引いたら、山を探そう」
これはインドネシアのある島で、
踊りとともに歌い継がれてきた伝承歌。

2004年のスマトラ沖大地震の際、
一帯は甚大な津波災害に見舞われましたが、
伝承が深く浸透するこの島では、多くの島民が
津波の到達前に高台へ避難し、被害を逃れたのです。

この知恵を他の地域に広げていく取り組みが、
日本からの国際協力として進められています。
どれだけ高度な防災システムを開発しても、
それを導入し、維持していくのは予算的にも困難です。

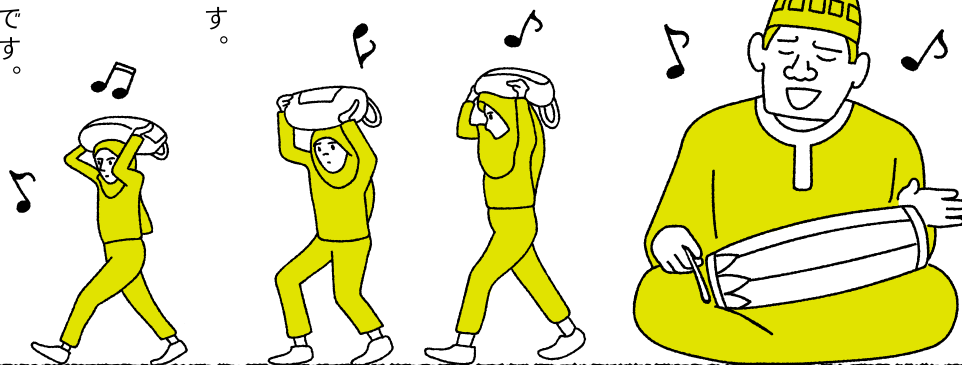
その土地に根づいた歌や踊りなどの伝統文化に防災の教えを
組みこんでいくことが、実現可能で、効力も高い防災対策なのです。
まず現地に赴き、人々にふれ、生活を体感して文化を深く理解すること。

そこに暮らす人々と同じ視点を持つことによって初めて、
本来に必要とされ、活用してもらえるものを形にできます。
防災に限りません。環境保全でも、教育支援でも、
国際協力とはそういうこと。

海外でのフィールドワークなどを通じて、
学生のうちからその目を養っていきましょう。

経営学科

教授 バンバン・ルディアント



和光3分大学

現代人間学部

心理教育学科（心理学専修／子ども教育専修／子ども教育専修 保育コース）
人間科学科

表現学部

総合文化学科／芸術学科

経済経営学部

経済学科／経営学科

TEL: 044-988-1434 (入試広報課)

〒195-8585 東京都町田市金井ヶ丘5-1-1

【ホームページ】<https://www.wako.ac.jp/>

【メールアドレス】go@wako.ac.jp

異質力で、輝く。

和光大学